



## 年間第7主日 (マタイ 5:38-48)

あなたの顔はイエスの模範を写し取っているか

「しかし、わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。」(5・44) 今週の福音朗読箇所は先週の朗読と連続していますし、関連付けて考える必要がありそうです。

先週の朗読箇所では「わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思っはならない。廃止するためではなく、完成するためである。」

(5・17) と言っておられます。律法を捨て去るのではなく、律法に命を吹き込みました。今週の招きも、「天の父の子となるため」(5・45) 「完全な者」(5・48) となるため、私たちの取り組みに命の息を吹き込みます。

先週ヨハネ・ボスコ夫津木昇神父様の葬儀ミサに参列してきました。田平教会の役員も連れて行きました。私たちの教会からの弔電も披露されました。今日のミサは、夫津木神父様の追悼の気持ちを持っておささげしております。

聖パウロ会の司祭でしたので、聖パウロ会日本管区長の澤田豊成師が葬儀ミサを司式しました。彼と中田神父とは大神学院時代四年間机を並べて学んだ仲です。「へえ～。もう管区長になったんだ」と素直に思いました。立派に務めを果たす姿を見て、誇らしくもありました。

葬儀ミサで、ご遺体のそばに置かれた遺影はとても印象的でした。喜びに満ちあふれた顔でした。今日のミサのために、少しカードをもらってきました。コピーも用意しました。ご覧になったらよく分かると思います。私はこのお写真がたくさんを語っていると思ひました。きっと、すべての苦勞を苦勞と思わず、喜び一杯の司祭生活、修道生活だったのだらうと感じたのです。

福岡では最後は老司教会を任せられていました。ローマで学び、司祭に叙階され、イギリスのロンドンに留学と、華々しい経歴の持ち主でしたが、それを見せびらかすことなく、気さくな司祭として慕われていたのでした。

老司教会の信徒会長がお別れの言葉で一つの思い出を語ってくれました。夫津木神父様みずから司祭館の屋根に登ってペンキ塗りをしたことがあったそうです。職人を雇えばよいのに、喜んで自分から飛び込んでいく。あの人なっっこいお顔を二度と拝見できないと思うと胸が張り裂けそうだと仰っていました。

管区長の澤田神父様はあいさつの中でこう言っていました。「夫津木神父様は都合二回管区長の重責を担ってくださいました。いずれの時も、聖パウロ会が困難の中にあつた時でした。人間的には引き受けたくない時期に管区長職を要請されましたが、それを寛大に引き受けてくださったのです。」私には、澤田神父様の苦勞が話の向こうに透けて見える感じがしました。

管区長職は、権限を与えられた身分ですから、管区長でしかできない

命令を、聖パウロ会の会員に求めることも可能だと思います。そうしようと思えば、「目には目を、歯には歯を」という処分をだれかに下すことも可能でしょう。けれどもそれでは、「異邦人でさえ、同じことをしているではないか」(5・47)ということになるわけです。

どんな苦境にあつて管区長職を引き受けても、「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」この姿勢を貫いて聖パウロ会日本管区を守り抜いてきたのだと想像しました。大変なご苦勞を見せない。これこそイエスが今週の福音で語っておられる高い理想なのです。「あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。」(5・48)

中田神父は「完全な者」についてこれまでこう考えていました。「失敗しない人、働きに欠点不足のない人、誰にも隙を見せない人。」しかしイエスはもっと人間味溢れる姿を示してくださったのです。「父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。」(5・45)

「失敗のない教会共同体作り」とか、「欠点不足のない信徒を育てる」とか、「誰にも隙を見せない組織作り」とか、これらがイエスの求める教会の姿ではないようです。「あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。」太陽の暖かさ、ゆっくりしみこむ雨の恵み、そうした取り組みですべてを慈しむ。私がこれまで考えてきた「完全な者となる」方向は、軌道修正が必要だと感じました。

葬儀ミサで頂いてきた夫津木昇神父様のお写真は、「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。」「あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。」今週のイエスのみことばを語っているような柔らかなお顔です。

イエスが示そうとする模範であれば、人間にとって不可能なものはなく、聖霊の助けがあれば天の父に倣うことができるでしょう。夫津木神父様が田平教会を見守ってくださると信じ、イエスが示す「完全な者となる」道を、田平教会の信者と共に歩んでいきたいと思ひます。